学校便り
知恵 勇気 優しさ
旭川市立緑が丘中学校
令和７年 １月31日
文 責 千葉 雅樹
岡田 哲
NO. ９

とっても素敵な作文でした！

校長　千葉　雅樹

１月８日（水）、第５２回中学生作文コンクールにおいて、２年生の佐々木香杜さんが、北海道中学校長会会長賞を受賞し、その表彰式が行われました。テーマは「２０××年　何してる？」でした。会場で佐々木さんが作文を披露したとき、彼女のまっすぐな思いと優しさを感じ、心がとても熱くなりました。皆さんも、きっと何かを感じるはずです‥‥

２０３４年の私　－故郷を守るために－

旭川市立緑が丘中学校　佐々木香杜　２年

私は自然が好きだ。生まれ育った家の近くには森林公園や北星山があった。散歩をしたり虫捕りをしたり、庭にくる野鳥にえさをあげたりして過ごしてきた。

今年の４月、中富良野町から旭川市の中学校に転校してきた。初めての転校で緊張したが、みんな優しく話しかけてくれ、すぐに友達ができた。前の学校には無かった部活動にも入ることができた。旭川市は、大型のショッピングセンターや病院、飲食店などがたくさんある。そのため、便利で楽しい毎日を過ごしている。

しかし、どこか寂しく感じる自分がいた。休日に中富良野町の家に帰った時に、前までは何気なく過ごしていたところが、懐かしく安心できるところに変わっていた。前よりも山がきれいだなと思ったり、空気がおいしいと思ったりするようになった。町から一度離れたことによって、今まで住んでいた町は、自然環境に恵まれているという良さに改めて気づいたのだ。

私は、町が主催したワークショップ「なぞときまちさんぽ」に参加して、町の良い所を再発見するために町中を歩いたことがある。町の人たちと町の良い所や課題を話し合うことができた。北星山の観光リフトに乗り、頂上から町全体を眺めた。そこから見る景色は素晴らしく、この豊かな田園風景を守り続けたいと感じた。

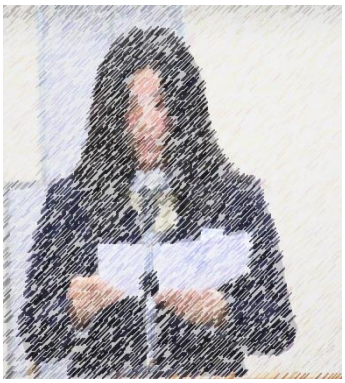
２０３４年、今から１０年後、私は大学を出た後、大好きな中富良野町に住み、町をより良くするための活動をしていたい。

例えば、広い森林公園を活かしたアスレチックパークをつくり、観光客だけでなく、町の子どもたちも楽しめる場所を増やしたい。

また、町の人口が減ってきているので、「この町に住みたい」と感じて移住してくれる人の増加を図りたい。町外に移住した人もまた戻ってきたいと思えるような自慢できる町にするために、町を活性化し、さらに中富良野町の魅力を発信していきたいと考えている。

そのために、どんな仕事に就いているかは、まだイメージできていない。だが、デザインに興味があるので町の魅力を発信するウェブサイトをつくりたい。他にも、動物が好きなので自然を活かして動物に触れ合えるところをつくったりしたいと夢はふくらんでいる。

２０３４年、私は中富良野町に住んでいる。そこでは、豊かな自然を守り、町に住んでいる人や訪れる人、町に住む動物たち、みんなの幸せのために暮らしている。



人は日常の中にこそ、大切なものがあることを忘れがちである。私もそう。病気になって初めて健康のありがたみがわかる。彼女にとっては、中富良野を離れて初めてその自然の素晴らしさに気がつく。

そして、将来は、中富良野のために働きたいと‥‥

私は変化の激しい世の中で生きているうちに、大切なことを忘れていたように感じた。

彼女のような若者がこれからの世の中で活躍する姿を想像するとうれしくなる。

吹奏楽部アンサンブルコンテスト

１月 18 日（土）に旭川クリスタルホールで行われた第 61 回管楽器個人コンテスト、第 56 回アンサンブルコンテストにおいて、吹奏楽部から個人１名、団体２グループが出場しました。日頃の練習の成果を存分に発揮し、すべて金賞を受賞しました。中でも木管三重奏のグループが全道大会への出場権を獲得しました。冬休み中も日々の練習を重ね、仲間とともに高め合った成果が素晴らしい結果につながりました。２月 15 日（土）に札幌市で開催される全道大会までの期間もさらに努力を重ね、心に響く演奏を目指してくれると思います。

公立高校へ出願しました ～今年度からWeb出願に～

３年生は１１月末に三者面談を終え、希望進路を決定し、実現に向けて努力を重ねています。そして、１２月に志望する学校に提出する願書を作成し、すべての点検を終え、１月 20 日に各高校へ出願しました。今年度から北海道の公立高校においても、Web による出願が始まり、各学級で入力する箇所を１つ１つ確認しながら、間違いのないように進めました。また、点検用の用紙を印刷し、その後の確認作業も丁寧に行っています。

３学年では「受験は団体戦」を合い言葉に、全員の進路が決定するまで、皆で協力して３学期の受験シーズンを乗り越えていきます。

今年度のリーディング DX スクール事業

本校は昨年度から文部科学省のリーディング DX スクール（以下 L-DX）事業の指定を受け、２年目を迎えました。昨年度は主に校務のデジタル化を推進し、出欠報告フォームの運用や文書のデータ配信などで用紙の削減や業務の効率化を図りました。

今年度は、これらの基盤を活かし、授業 DX を推進し、「子どもに学びを委ねる授業」を展開しています。中でも春日井市の実践を参考に「複線型授業」の導入を進めてきました。複線型授業とは、生徒一人ひとりに応じて、学習の道筋を設定し、個別最適な授業を展開する授業形態です。この取組により、生徒の主体的な学びが促進され、学習意欲の向上が見られています。今年度は多くの研修の機会から学び、実践を重ね、教員間で授業内容の共有や指導方法の工夫を行うことで、教育の質の向上を図っています。

これらの詳細については、学校ホームページの「L-DX スクール事業」のページに掲載しておりますので、取組の一端をご覧ください。（２次元コード→）

【L－DXにかかわる今年度の主な研修、講師】
６月２８日（金）「令和６年度緑が丘地区小中合同研修会」
合同会社 LTS 代表　菅野　光明様
７月　ＤＸ授業交流月間１人１レポート
８月３０日（金）「ＩＣＴ活用研修会（学校ＤＸ編）」
春日井市教育研究所教育ＤＸ推進専門官　水谷　年孝様
春日井市立高森台中学校　教頭　小川　晋様
１０月　１人１授業実践
１１月　５日（火）「授業公開・校内研修」
中村学園大学教育学部　教授　山本　朋弘様
１１月２６日（火）「実践報告会」
春日井市教育研究所教育ＤＸ推進専門官　水谷　年孝様
ほっかいどう学推進フォーラム 理事長　新保　元康様

２月の行事予定

※「SC」はスクールカウンセラー来校日です。

1	土			11	火	建国記念の日		21	金	【2】スキー授業②	
2	日			12	水	【1,2】学年末学習会		22	土		
3	月			13	木	【3】私立高入試A 【1,2】学年末テスト①		23	日	天皇誕生日	
4	火	職員会議⑪		14	金	【1,2】学年末テスト②		24	月	振替休日	
5	水	【1,2】学力テスト④ 校内研修⑦		15	土			25	火	再引落日	
6	木		SC	16	日			26	水		SC
7	金	新入生説明会		17	月	【2】スキー授業① 諸費引落日		27	木	【1】スキー授業②	
8	土			18	火	【3】私立高校入試B		28	金	【1,2】参観日	
9	日			19	水	専門委員会⑨	SC				
10	月	【3】公立高推薦入試 【1,2】学年末学習会	SC	20	木	【1】スキー授業①					